

リチウムイオン電池の劣化予測に向けた放電曲線の 数理モデル構築

本藏, 耕平

<https://doi.org/10.15017/1500731>

出版情報：九州大学, 2014, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	本藏 耕平			
論 文 名	リチウムイオン電池の劣化予測に向けた放電曲線の数理モデル構築			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	西村 伸
	副 査	九州大学	教授	伊藤 衡平
	副 査	九州大学	教授	岡田 重人

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、リチウムイオン電池の放電曲線の数理モデルを構築、適用することにより可逆容量減少の予測手法を確立し、本手法が幅広い電池材料系に適用可能であることを実証しており、信頼性の高いエネルギー貯蔵デバイス開発に貢献すると考えられ、エネルギー工学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）に値するものと認める。